

7. 汐川干潟について（問17～問19）

問17 豊橋市の南西部三河湾沿岸地域には、豊かな自然が広がる汐川干潟があります。この汐川干潟には、貴重な鳥類や、干潟特有の無脊椎動物（貝やゴカイなど）、塩生植物などが生息しています。これまでに汐川干潟に行ったことはありますか。（n=2,341）

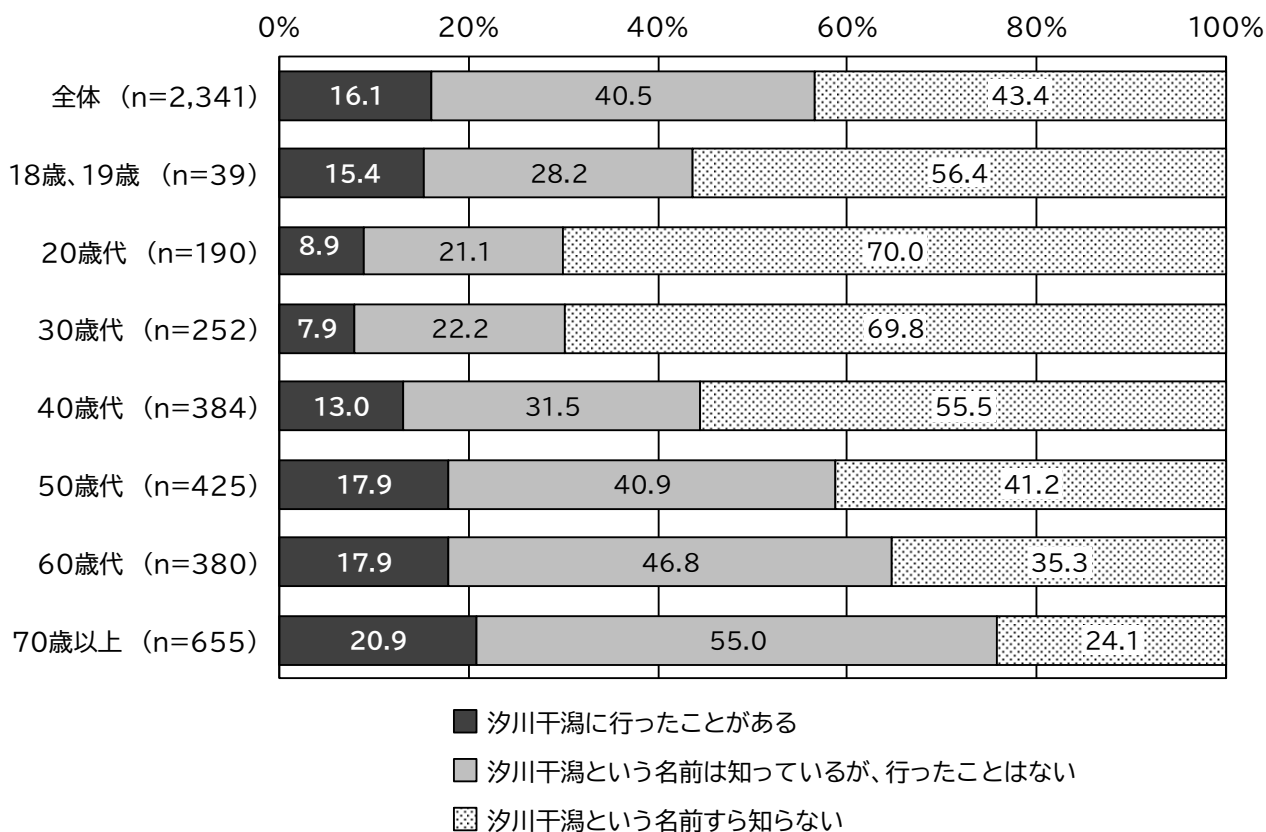
（1）全体的傾向

「汐川干潟という名前すら知らない」と回答した人の割合が43.4%で最も高く、次いで「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」（40.5%）、「汐川干潟に行ったことがある」（16.1%）となっている。

（2）年代別にみた特性

50歳代以下は、「汐川干潟という名前すら知らない」と回答した人の割合が41.2%～70.0%と最も高くなっており、特に20歳代（70.0%）と30歳代（69.8%）は他の年代と比べ高くなっている。

一方、60歳代以上は、「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」と回答した人の割合が46.8%～55.0%と最も高く、特に70歳以上は55.0%と5割を超えている。



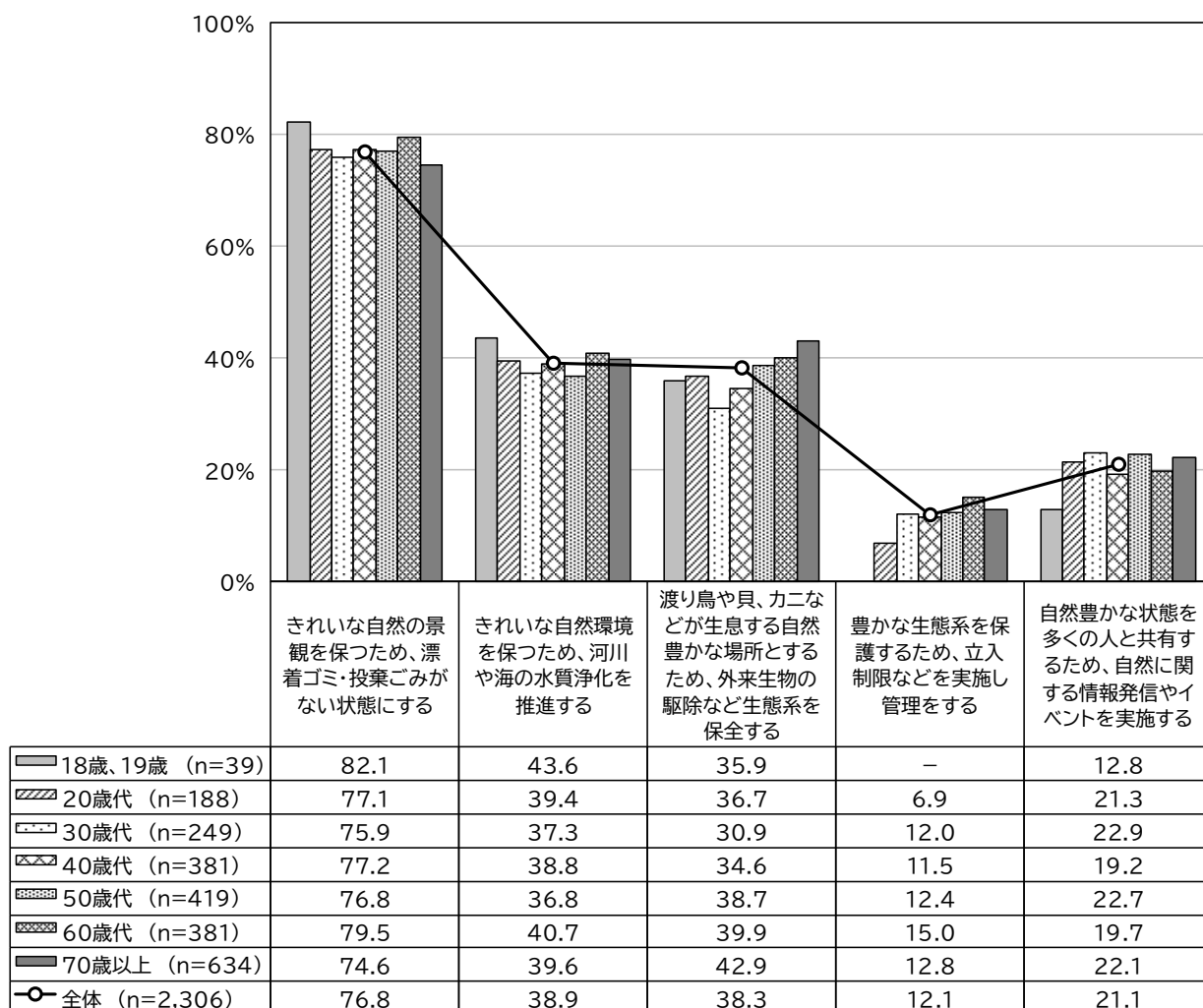
問18 汐川干潟をはじめとした「豊かな自然環境」を保全するためには、どのようなことが特に必要であると考えますか。（複数回答：n=2,306）

(1) 全体的傾向

「きれいな自然の景観を保つため、漂着ゴミ・投棄ごみがない状態にする」と回答した人の割合が76.8%と最も高く、次いで「きれいな自然環境を保つため、河川や海の水質浄化を推進する」(38.9%)、「渡り鳥や貝、カニなどが生息する自然豊かな場所とするため、外来生物の駆除など生態系を保全する」(38.3%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で「きれいな自然の景観を保つため、漂着ゴミ・投棄ごみがない状態にする」と回答した人の割合が74.6%~82.1%と最も高くなっている。



問19 どのようなことならば豊橋市の環境保全活動に協力してもよいと考えますか。（複数回答：n=2,335）

（1）全体的傾向

「現時点では特に思い当たらないが、必要に応じて協力する」と回答した人の割合が63.0%で最も高く、次いで「生活排水に配慮するなど、水環境を大切にする」(62.8%)、「観察会や調査、清掃美化などのボランティア活動に参加する」(12.2%)と続いている。

（2）年代別にみた特性

「現時点では特に思い当たらないが、必要に応じて協力する」と回答した人の割合は、年代が高くなるほど高くなっており、60歳代以上は71.5%～72.0%と7割を超えている。

また、「生活排水に配慮するなど、水環境を大切にする」と回答した人の割合は、20歳代以上は、年代が高くなるほど高くなっており、60歳代以上は67.9%～73.6%と6割を超えている。

